

発達心理学に 脳科学からせまる



近年、脳機能イメージングの開発と進歩によって、ヒトの脳機能をさまざまな角度から解明し、発達研究や発達支援へ活かす取り組みが進められています。そこで、本シンポジウムでは、脳科学からのアプローチによってヒトの認知発達や認知機能の研究に取り組んでいる新進気鋭の研究者を招き、発達研究の推進や、福祉・教育現場で発達支援を展開していく上での、脳科学の有効性と課題について考えて行きたいと思えます。

日時：2013年11月30日（土） 13：00～16：00（12：30～開場）

会場：東北大学川内南キャンパス文科系総合研究棟大会議室（11階）

定員：先着80名 入場無料・申込不要

企画司会：庭野賀津子（東北福祉大学 総合福祉学部）
話題提供：河地 庸介（東北福祉大学 感性福祉研究所）
「状況適応的に変化する視聴覚統合認知」
坂本 修一（東北大学 電気通信研究所）
「音声聴取支援システムにおける話者映像の役割」
保前 文高（首都大学東京大学院 人文科学研究科）
「言語獲得の基盤をなす乳児の発達脳」
指定討論：行場 次朗（東北大学大学院 文学研究科）

【アクセス】仙台駅前仙台市営バス9番乗り場から「宮教大・青葉台行」「青葉通り經由動物公園循環」「川内南キャンパス経由（急行）東北大川内キャンパス」に乗車、停留所「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車。

【臨床発達心理士の方へ】本シンポジウムは臨床発達心理士資格更新研修会としてご参加いただけます。資格更新ポイントとして1ポイントが付与されます。

【シンポジウムに関する問い合わせ先】E-mail: tohokusympo2013@gmail.com

主催：日本発達心理学会・日本臨床発達心理士会東北支部